

環 整 第 2028 号
平成 20 年 10 月 6 日

国土交通省 道路局長 様

岩手県 藤沢町長 畠山 博



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付国道企画第 37 号で依頼のありました標記につきまして、別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岩手県 藤沢町

○都市と農村部における道路整備格差の是正

地方の道路整備率は、まだまだ低い現状であり、今後とも整備の必要がある。

特に、都市部と地方を結ぶ幹線道路の整備が、地方の振興と活性化に不可欠である。

○医療、福祉など住民の日常生活を支える道路整備の推進

地方においては、急速な高齢化や少子化、深刻な医師不足などが進展するなか、生活に直結する住民の生活を支える、市町村道の整備が極めて重要となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

② - 1 地域の現状と抱える課題

岩手県 藤沢町

○現状 本町は、道路が唯一の交通手段となっており、広域的な交流、物流等の機能を持つ幹線道路の整備が必要である。 迎えた長寿社会への対応として、交通弱者が増加するなか医療や介護サービスの提供を進めるうえで、生活道路の整備、維持管理がますます重要になっている。	○課題 東北自動車道と三陸を結ぶ国道284号が持っている、アクセス機能をさらに高規格道路として整備を進め必要がある。 三陸縦貫自動車の整備が進んでおり、アクセス道となる国道456号の宮城県境部の整備が課題である。 本町の道路整備率は低く、生活関連道の整備がさらに必要な状況であり、加えて既存の道路施設の長寿命化を進めながら、施設管理費の低減につなげる対応が必要である。
---	--

広域的な交流と連携を支え、緊急輸送、物流、観光ネットワーク等の機能の充実を図るうえで、幹線道路の整備を推進し、地域の活性化を図る。

高齢化社会への対応として、地域住民が安心して生活するため、医療、福祉のサービスを全町にわたり提供可能な生活道路の整備、維持管理を推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岩手県 藤沢町

○重点事項	○代表事例	○ 期待する効果や評価	○その他
都市部と地方を結ぶ幹線道路の整備	三陸縦貫自動車道のアクセス道となる、国道456号宮城県境部の整備	本町は、宮城県境に位置する町であり、三陸縦貫自動車道とのアクセスが容易となり、宮城県からの交流、物流が推進され、地域の活性化が図られる。	